

NEWS LETTER 遊文通信

2017年6月発行

72

付加価値の創出、 妥協しません。 営業活動報告第2弾



バリエブル(可変)印刷活用のご報告

紹介させていただく事例は、入社以来、年に数回は必ず携わらせていただいているバリエブル印刷です。ご存知の方も多いと思いますが、改めて説明させていただくと、バリエブルとは Variable Data Printing、共通のレイアウトの一部分を1枚ずつ内容を変えて印刷することです。データに基づいて処理されるので、版を変えることもなく、一時停止することなく印刷されていきます。オフセット印刷の版により固定的な内容を印刷する、従来の印刷概念とは全く違うデジタル印刷の一種です。

すぐにイメージできるものとして挙げられるのは、ダイレクトメールの宛名印刷です。ハガキの宛名面の印字は郵便枠などあらかじめ固定したデータに、お客様から郵便枠・住所・氏名といったデータベース（主にExcelデータ）を提供いただき、それを少し加工してから流し込んで印刷していきます。

弊社ではもちろん上記のようなハガキなどの宛名印刷もお受けしていますが、それよりも各種チケットや券のナンバリング、イベントで使用するネームカードといった案件が比較的多いです。イベント関係のものは総じて時間がない案件が多いですが、データベースさえ提供いただければ迅速に対応することができます。しかも、デジタル印刷ですので、その後の折りや断ちなどの工程

もオフセット印刷より時間を短縮できます。

また、弊社では行政が行う市民アンケート調査票の印刷をさせていただくことがあるのですが、最近は送付後も誰にどの内容のアンケートを送ったかを把握できるように、表紙にナンバリングを施すケースも多くなってきました。

他にもこんな事例がありました。ある出版社さんのお仕事で、美術展の図録集をさせていただいたことがあるのですが、その表紙にバリエブル印刷を使いました。図録集ですので、本文は美術展に出展されている作家さんの作品が全て掲載されています。その部分はオフセット印刷機で刷り、表紙は1冊ずつそれぞれの作家さんの作品と名前を掲載したものをデジタルで印刷。お客様にも大変ご満足いただきました。

これまで挙げた例以外にも、考え方や持っておられる情報次第で様々な場面でバリエブル印刷は使えると思います。ご相談いただければ、より訴求力の高い印刷物を一緒に考えさせていただきます。（企画営業部 河野 行俊）



企画営業部 河野 行俊

- ▶ 入社：6年目 ▶ 年齢：36歳 ▶ 出身地：大阪府東大阪市
- ▶ 出身大学：追手門学院大学経済学部
- ▶ 趣味：アウトドア。その中でも最近はまっているものはスラックラインです。ご存知の方も多いと思いますが、ようは綱渡りです。木と木の間に5cm幅のラインをわたしてその上を歩きます。バランス感覚、体幹、集中力が鍛えられます。最初は立つことすら困難で、産まれたての子鹿のように足が震えます。達人になればライン上で座ったりジャンプしたりするようです。
- ▶ ひと言：営業エリアは主に北摂です。今後ともよろしくお願いいたします。



スタッフ趣味の スポーツ観戦

～印刷課 加地秀幸編

私の趣味はスポーツ観戦です。

少し前までは、サッカー、野球、スノーボード……とプレイする側でしたが、最近では観る側に徹しています。スポーツは全般好きです。

特に日本代表の試合は燃えますね！ オリンピックやワールドカップ、WBCなどはたとえ夜中の放送でも、がっつき観てしまいます。ただ、今年のWBCは残念でした。圧倒的な強さで予選突破したのですが……あっさり負けてしまいました。やはり、メジャー組も参加してのガチの戦いが観たいですね。

それから、2020年には東京オリンピックが開催されます。普段はなかなか観戦できない柔道や卓球、バレーなど生で観戦できるチャンスなので、なんとかチケットを手に入れたと思っています。

あと、プロ野球観戦にもはまっています。大阪生まれ大阪育ちの私は、大きな声で言えませんが巨人ファンです。小さい頃から両親の影響もあり、よく球場にも足を運びました。

十数年前までは、甲子園でも半分近く巨人ファンが居て気兼ねなく熱く燃えていましたが、最近はレフトスタンドの片隅で静かに応援しております。なので、年に1度は東京ドームへ盛り上がりに行っています。



15年前には日本一のパレードも観に行きました。昨年はクライマックスシリーズ、4年前にはリーグ優勝の胴上げも観る事が出来ました。マジック10をきったタイミングで一か八かチケットを1日分とりました。2日前にはマジック1になり、消化試合になるかとひやひやでしたが奇跡的に優勝決定の試合になりました。優勝の瞬間にはドーム球場一面に紙テープが発射され、圧巻でした。

近年、地上波でのプロ野球放送がどんどん減ってきて寂しくなってきたなか、熱血タイガースファンに加えてカープ女子と、また少しずつプロ野球全体が盛り上がってきている感じがして嬉しく思います。ただ、巨人は4年前の胴上げ以来優勝から遠ざかっています。今年もこの記事を作成している現時点、まさかの10連敗中です。ネットニュースでは、優勝確率0%との事。由伸監督の采配に批判的な意見も出ていますが、まだまだこれからです！ きっと、この『遊文通信』を皆様を読む頃にはネットニュースではメークドラマのフレーズが飛び交っている事を信じて、これからも応援していきたいと思います。



● 編集後記 ●

先月号の遊文通信でご報告しましたが、東京営業所が移転いたしました。以前のビルより広くなり、お客様をお迎えするスペースもがっつき設置しました。編集長である私も東京営業所のメンバーで気持ち新たに仕事をしております。駅からも徒歩1分と近く、周りには飲食店も多くありお昼ご飯も日替わりで楽しめそうです。ただ、難点なのは東京ドームがとて近いためイベント開催日は駅が混雑します。本社の野球好きには堪らない好立地なのですが、仕事を終えたあとに満員電車に乗るのはいまから不安です… (笑)

(ばっしー)